

# 平成26年度事業報告

## ● 基本方針

昨年は、公益法人制度移行という大きな節目の年であった。新体制のもと各地区協会を訪問し、協会運営の健全強化と連携につとめた。

また、脆弱な自己財源を補うため、賛助会員の募集や寄付金の協力依頼などを積極的に行った。

国と道が進める「アイヌの人たちの生活向上に関する推進方策」及びアイヌ文化財団の行う各種事業の執行や内容充実を図るため、各関係機関との連携を保ちつつ政策検討や事業実施について働きかけた。

国が進めている「民族共生の象徴となる空間」については、昨年6月に閣議決定され2020年の設置に向けたロードマップが示された。

「先住民族の権利に関する国際連合宣言（以下、国連宣言）」に照らし、「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会（以下、有識者懇談会）」報告書の実現を優先にあらゆる機会を捉え「アイヌ文化振興法」制定時に残された課題を始めアイヌ民族の積年の願いである立法措置に基づく総合的施策の確立に向けて「アイヌ政策推進会議」などに積極的に働きかけた。

## <2つの項目>

- 1 組織・活動強化の推進
- 2 事業の推進

### 1 組織・活動強化の推進

#### 1 要請活動等の展開

アイヌ文化振興法の制定趣旨に基づき、アイヌ文化財団の各種事業展開と密接な連携・協力関係を築きながら、効果的な助成事業の実施に取り組んだ。

先住民族としての法的位置づけを明確なものとする活動や訴えについては、超党派議員連盟『アイヌ政策を推進する議員の会（代表世話人今津寛衆議院議員）以下、「国会 議員連盟』をはじめとした国政や関係行政機関、マスコミなどに対し引き続き働きかけた。

一方、「国連宣言」や「人種差別撤廃条約」の内容についての国内理解を進めるとともに、先住民族関連の国際会議などの情報を入手し、我が国における先住民族の認知がより一層定着する活動を継続した。

また、北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの協働による啓発・研修活動等を進め、各種学会などへ所要の要請を行う。人権啓発活動等に取り組む（公財）人権教育啓発推進センター、反差別国際運動や市民外交センターとの情報交換、連携などにつとめた。

(1) 「アイヌ文化振興法」の施策活用

アイヌ文化の伝承・保存活動への取組みを推進するため、各団体会員はもとより、各古式舞踊保存会などで会員一人ひとりがこの施策を有効に活用できるよう、事業の周知と実施方法についての助言、助力を行った。

一方、アイヌ文化財団助成事業等の助成申請手続きの透明化や役員はじめ協会関係者間の協力による適正な事業実施が行われるよう、組織内部の倫理高揚、牽制体制の整備強化にとり組んだ。

(2) 政府並びに各政党に対する働きかけ

加藤理事長はじめ協会役員が、政府における一連の取組みをさらに推し進めていくとともに、超党派での北海道選出国會議員、政府並びに各政党に働きかけを行った。

① 国會議員等への要請

- ・ 公明党国会対策副委員長 佐藤英道衆議院議員 H26. 5月
- ・ アイヌ政策を推進する議員の会 H26. 6月
- ・ 赤澤亮正衆議院議員 H27. 1月

② 関係省庁への要請

- ・ 太田昭宏国土交通大臣 H26. 5月
- ・ 下村博文文部科学大臣 H26. 11月

③ 北海道への要請

◇ 北海道議会の超党派議連「アイヌ政策推進北海道議員連盟（会長 神戸典臣）」

アイヌ政策推進北海道議員連盟総会 平成26年11月28日

◇ アイヌ生活向上推進方策検討会議に参加し、次期アイヌ政策に向けて意見を述べた。

第1回 平成26年7月16日（水）

第2回 平成26年10月6日（月）

第3回 平成26年12月12日（金）

第4回 平成27年2月10日（火）

(3) 象徴空間整備に関する施策の推進の働きかけ

昨年6月に閣議決定（2020年に開設）された、象徴空間の整備、管理運営については「有識者懇談会報告書」で提言されているとおり、先住民族であるアイヌの文化の復興に配慮すべき強い責任が国にあるという認識に基づき、象徴空間整備事業がより良いものになるよう働きかけた。

アイヌ人骨の集約にあたっては、将来への禍根を残すことなく返還、保管、研究等のあり方を希求するよう求めた。

アイヌ協会の基本的な方針である遺骨の返還を原則とし、承継者に返還できる遺骨を除き速やかに当該施設に集約し、一刻も早い慰霊の体制確立を求めた。

①アイヌ政策推進会議等への出席

◇アイヌ政策推進会議（第6回）

日時：平成26年6月2日（月）

場所：総理大臣官邸

- 議事：
- ・「民族共生の象徴となる空間」の整備及び管理運営手法について
  - ・「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」の報告で提言された政策等の推進状況の報告について
  - ・意見交換

◇政策推進作業部会

第16回 平成26年4月18日（金）

- ・「民族共生の象徴となる空間」の整備及び管理運営の基本方針について
- ・アイヌ遺骨について
- ・「北海道外アイヌ生活実態調査」を踏まえた全国的見地からの施策の進捗状況について

第17回 平成26年5月14日（水）

- ・「北海道外アイヌ生活実態調査」を踏まえた全国的見地からの施策の進捗状況について
- ・国民理解を促進するための活動について
- ・アイヌ遺骨について

第18回 平成26年9月18日（木）

- ・平成27年度アイヌ政策関係予算概算要求の状況について
- ・「民族共生の象徴となる空間」について
- ・アイヌ遺骨について
- ・国民理解を促進するための活動について

第19回 平成27年2月5日（木）

- ・平成27年度アイヌ政策関係予算概算要求の状況について
- ・「民族共生の象徴となる空間」について
- ・アイヌ遺骨について

第20回 平成27年3月19日（木）

- ・「民族共生の象徴となる空間」について
- ・アイヌ遺骨について
- ・「北海道外アイヌ生活実態調査」を踏まえた全国的見地からの施策の進捗状況について

（4）農林漁業対策の推進

農林漁業対策については、地域の営業実態に応じた生産基盤や近代化施設の整備を進めるため、引き続きアイヌ農林漁業対策事業の積極的な活用を図るとともに、団体会員への制度理解につとめた。

（5）住宅対策の推進

住宅の改善を促進するため、アイヌ生活向上推進方策検討会議において新築・改修及び宅地取得資金の増額など、住宅支援策の充実を求めた。

(6) 先住権、人権に係わる機関・組織等に対する働きかけ

① 法務省の啓発事業「アイヌの人々の人権擁護の観点からの啓発」への協力、「人種差別撤廃条約」並びに「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」の趣旨を踏まえ、(公財)人権教育啓発推進センターなどとの連携により人権教育の推進に努めた。

② 昨年は、日本人類学会などの各種学会や北海道大学「アイヌ・先住民研究センター」の協力を得て「アイヌ人骨の返還・慰霊のあり方／先住民族の人権 -責任と公益-」と題した国際先住民の日記念事業を開催し、「アイヌ学」や「アイヌ史」の構築に向けて、協力、連携しながら取組みを進めた。

アイヌ民族の先住域である千島、樺太、北海道などの歴史的な実証資料や図書資料の収集につとめたが、国内外における活動の展開には至らなかった。

③ 「世界先住民族会議」に政府代表団として初参加した。

日 程：平成26年9月22日(月)～23日(火)

場 所：ニューヨーク国連本部

参加者：阿部副理事長、菊地理事

④ 先住民族が主体となって開かれる各種国際会議に参加した。

第85会期人権差別撤廃に関する国際会議 (CERD) への参加

日 程：平成26年8月17日～24日

場 所：ジュネーブ国連欧州本部

出席者：阿部一司他 1 名

※参加経費は、半額自己負担

⑤ 国連への諮問資格をもつ反差別国際運動、市民外交センターなどと情報交換しつつ、先住民族の認知や人権環境の改善のために活動を進めた。

(7) 伝統的生活空間再生の働きかけ

イオル先行実施地域の白老・平取地域及び平成24年度の札幌地域、さらに25年度の新ひだか地域の充実と残る3地域の支援を継続して進めた。

また、イオル推進委員会を開催し情報共有を図った。

◇イオル推進委員会の開催

日時：平成27年3月3日(火)

場所：かでの2・7

(8) 自主的啓発活動の推進

「アイヌ政策推進会議」の二つの作業部会報告書を踏まえ、協会組織内の周知、情報共有とともに「国連宣言」や「人種差別撤廃条約」の趣旨とその活用方法について機会をとらえて情報提供を行った。

あわせて広報紙、冊子、チラシ、道の啓発誌、DVDなどをとおして、平時継続的な周知を行った。

(9) ホームページの充実

ホームページを通して、「先住民族アイヌの法制史概要」資料掲載に引き続き、アイヌ民族関連の情報の発信に努めるとともに、民芸品等の販売が促進されるようパンフレットを掲載した。

(URL : <http://www.ainu-assn.or.jp>)

(10) 「アイヌ文化交流センター」の運営への協力

全国に向けたアイヌ文化の発信拠点として、東京都に設置されている「アイヌ文化交流センター」との連携を図り、事業運営等に協力した。

(11) 道外在住アイヌに対する施策実現への働きかけ

関東地域の関係団体・個人との情報共有につとめた。

(12) 北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの事業連携

同センター実施事業への協力を行うとともに、当協会事業に対するセンター教員等の支援協力を得た。

(13) 道立アイヌ民族文化研究センターと連携を密にし、それぞれの事業の推進に協力した。

(14) 教科書等のアイヌ民族に関する調査研究

小中学校使用教科書のアイヌ民族に関する記述は、平成24年度以降中学校教科書が大幅に増加された。各教科書出版会社に新中学校教科書の寄贈を願い、その殆どを収集したことから、道内全ての市町村教育委員会発行の新刊の社会科副読本も併せて継続収集につとめた。

アイヌ文化振興財団が発行した「アイヌ文化に関する指導資料」及び副読本「アイヌ民族：歴史と現在（改訂版）」の内容充実、有効活用への支援・協力につとめた。

(15) 教育相談員の配置等

既存の北海道、市に配置されている教育相談員との協力・連携により、地元の意向に即し支援につとめた。

(16) 図書・刊行物等の過誤対応

図書、各種出版物や観光資料などの記述に過誤があった場合は、速やかに改善を求めていくとともに、観光バスガイドテキストの有効活用、(公社)北海道観光振興機構に設置された「アイヌ文化部会」など関係機関と連携、協力しながら正確な知識の普及に努めた。

(17) 「記念事業等のあり方」対応

市町村の「記念事業等」について、事業名や実施内容に不適切な事例報告は受けなかったが、継続して情報の収集につとめた。

(18) 「FSC森林認証制度における管理木材リスク評価」について

「製紙会社が調達する北海道産木材がアイヌの伝統文化継承を阻害するような森林伐採に由来しないか、或いは森林域においてアイヌ文化の振興・発展にどのような支援が必要か」といった観点で王子製紙と日本製紙が実施するヒアリングに道協会・関係地区協会が協力した。

実施地域：豊浦／白老／旭川／上川／網走／札幌／帯広／本別／阿寒

実施内容：FSC認証制度の説明及び意見交換

※協会からは、認証制度の進展に伴う継続した協力連携の確保を要請

## 2 組織の強化

### (1) 団体会員等との連携強化

公益社団法人への移行に伴い組織体制を変更したが、組織の意思統一、連携・伝達により体制を強化するため、各地区協会の総会、役員会等に足を運び、会員の意識の向上と組織連携や強化を図った。

また新設した「会員研修事業」を実施し、地区協会との意見交換や活動支援、事務・会計相談などに応じた。

<参加地区、出席役員一覧表>

※各地区協会からの通知をもとに整理

期	日	行 事 名	出席役・職員
平成26年2月22日(土)		八雲支部総会	
平成26年3月7日(金)		長万部支部総会	加藤理事長、竹内常務理事
平成26年3月30日(日)		帯広支部総会	
平成26年3月31日(月)		美幌支部総会	
平成26年4月2日(水)		紋別アイヌ協会総会	秋辺理事
平成26年4月4日(金)		標津アイヌ協会総会	
平成26年4月6日(日)		新冠アイヌ協会総会	加藤理事長
平成26年4月9日(水)		弟子屈アイヌ協会	
平成26年4月12日(土)		旭川アイヌ協会総会	竹内常務理事、伊澤監事
平成26年4月13日(日)		白糠アイヌ協会総会	秋辺理事
平成26年4月13日(日)		三石アイヌ協会総会	
平成26年4月15日(火)		阿寒アイヌ協会総会	
平成26年4月18日(金)		上士幌アイヌ協会総会	
平成26年4月19日(土)		苫小牧アイヌ協会総会	
平成26年4月19日(土)		伊達アイヌ協会総会	

期 日	行 事 名	出席役・職員
平成26年4月20日(日)	千歳アイヌ協会総会	
平成26年4月20日(日)	浦河アイヌ協会総会	
平成26年4月20日(日)	様似アイヌ協会総会	
平成26年4月20日(日)	えりもアイヌ協会総会	
平成26年4月20日(日)	洞爺湖アイヌ協会総会	竹内常務理事
平成26年4月26日(土)	厚真アイヌ協会総会	川上主任
平成26年4月26日(土)	釧路アイヌ協会総会	竹内常務理事
平成26年4月27日(日)	白老アイヌ協会総会	
平成26年4月27日(日)	むかわアイヌ協会総会	
平成26年4月27日(日)	平取アイヌ協会総会	
平成26年4月27日(日)	新ひだかアイヌ協会総会	
平成26年4月29日(火)	室蘭アイヌ協会総会	
平成26年5月11日(日)	網走アイヌ協会総会	
平成26年5月11日(日)	幕別アイヌ協会総会	竹内常務理事
平成26年5月18日(日)	新ひだか シベチャリ武四郎まつり	
平成26年5月25日(日)	中標津アイヌ協会総会	
平成26年5月30日(金)	様似 イチャルパ	
平成26年6月1日(日)	新ひだか第26回イチャルパ	
平成26年6月22日(日)	第6回標津イチャルパ	
平成26年6月29日(日)	音別物故者イチャルパ	豊岡理事
平成26年7月20日(日)	網走 チパシリアイヌイチャルパ祭	
平成26年7月26日(土)	豊浦 カムイノミ・イチャルパ	
平成26年8月3日(日)	白糠 第36回ふるさと祭	
平成26年8月10日(日)	白老アイヌ碑先祖供養祭	
平成26年8月13日(水)	八雲 ウタリ先駆者鎮魂之碑	加藤理事長
平成26年8月23日-24日	釧路 コタン祭	竹内常務理事、豊岡理事
平成26年8月31日(日)	浦河アイヌ協会イチャルパ	
平成26年8月31日(日)	むかわ 碑前祭	

期 日	行 事 名	出席役・職員
平成26年9月5日(金)	恵庭アイヌ協会総会	川上主任
平成26年9月6日(土)	登別コタンのみ	
平成26年9月7日(日)	白糠 フンペ祭	
平成26年9月7日(日)	千歳 アシリチェプノミ	
平成26年9月7日(日)	上士幌 マレック漁	
平成26年9月14日(日)	網走 カムイチェップ祭	
平成26年9月15日(月)	釧路 カムイチェップ祭	
平成26年9月18日(木)	新冠 イチャルパ	
平成26年9月20日-21日	ノッカマップ・イチャルパ	
平成26年9月28日(日)	絵鞆先住民慰霊碑祭	
平成26年9月23日(火)	シャクシャイン法要祭	加藤理事長
平成26年10月5日(日)	厚真 カイムノミ・イチャルパ	
平成26年10月5日(日)	三石 イチャルパ	
平成26年10月19日(日)	浦河 パセオンカムイカムイノミ	
平成26年11月2日(日)	白糠 ししやも祭	
平成26年11月16日(日)	浦河アイヌ協会敬老会	
平成26年11月26日(水)	釧路アイヌ協会臨時総会	豊岡理事
平成27年1月10日(土)	登別 アシッパノミ	竹内常務理事
平成27年1月11日(日)	千歳 アシッパノミ	
平成27年1月11日(日)	様似アイヌ協会新年会	竹内常務理事
平成27年1月18日(日)	苫小牧アシッパノミ・イチャルパ	
平成27年1月18日(日)	浦河アイヌ協会新年会	竹内常務理事
平成27年1月25日(日)	穂別地区アシッパ・カムイノミ	
平成27年2月13日(金)	長万部アイヌ協会総会	加藤理事長、竹内常務理事
平成27年2月15日(日)	シシリムカアイヌ文化祭	阿部副理事長
平成27年2月21日(土)	八雲アイヌ協会総会	竹内常務理事
平成27年3月29日(日)	帯広アイヌ協会総会	竹内常務理事、川上主任
平成27年3月30日(月)	上川アイヌ協会総会	竹内常務理事

(2) 立法措置による全国展開のアイヌ施策への具現化

一昨年度北海道が実施した「北海道アイヌ生活実態調査」の結果が立法措置による新たな政策立案に結実するよう、アイヌ生活向上推進方策検討会議や道議会超党派「アイヌ政策推進北海道議員連盟」などに要請活動を行った。

(3) 国際文化交流事業の推進

アイヌ文化財団に働きかけていた青少年の海外研修事業と連携し、会員子弟への参加奨励など、組織強化につながる人材育成に取り組んだ。

(4) 会員研修事業の開催

協会理事会と各地区協会は常に情報を共有し密接な連絡調整を保つことが重要であることから、団体代表者等が一堂に集い、研修・意見交換することにより円滑な組織活動が図られるよう研修会を実施した。

日 程：平成27年3月14日～15日

場 所：かでの2・7

参加者：各地区協会代表者 39人

内 容：講義 団体会計処理の原則について 池田明聰公認会計士  
研修 法人活動、組織強化等について／意見交換

(5) 地区別懇談会の開催

アイヌ政策推進会議等の状況や協会活動などへの理解と参加促進、団体活動の活性化と団体組織の強化を図るため、各地区協会の要請に応じて地区別懇談会を開催した。

地 区	日 程	場 所	内 容
胆振地区	H27年 2月 7日 H27年 2月 8日	苫小牧市 伊達市	アイヌ政策推進会議等の状況について 他
日高地区	H27年 2月15日 H27年 2月22日	新ひだか町 平取町	アイヌ政策推進会議等の状況について 公益法人への移行後の意見交換
白糠地区	H27年 2月24日	白糠町	アイヌ政策推進会議等の状況について 他
網走地区	H27年 2月28日	網走市	アイヌ政策推進会議等の状況について 他

(6) 青年女性対策の推進

青少年国際交流参加者相互の交流の絆を強めるため、青年・女性会員層の交流を広げるため、次の取り組みを行った。

「青年・女性の集い」の実施

- ・開催地：国立日高青少年自然の家
- ・時 期：平成27年3月7日～8日
- ・参加者：各地区協会本会員（家族）68人

(7) 各種相談員の合同研修会などの実施

会員の生活・経済の向上と団体活動の活性化を図るため、生活・職業・教育相談員、さらに経営改善普及指導員による合同研修会や特別研修会を開催した。

◆合同研修会

日 程：平成26年7月10日（木）～11日（金）

場 所：札幌市

参加者：生活相談員、職業相談員、教育相談員 43人

◆特別研修会

各種事業の実施と合わせて開催

開催地：国立日高青少年自然の家

日 程：平成27年3月7日～8日

参加者：各種相談員 13人

(8) 連帯意識の高揚

各種貸付金の返還について、各個人の責任において必ず履行されるよう償還義務の確認、連絡徹底に努めた。

(9) 生活館活動の充実

生活館活動については、各地区独自の活動実施にとどまった。

今後進められるアイヌ政策の推進に関しては、その継続拡充、待遇改善等、実態に即した抜本的な改善が図られるよう「アイヌ生活向上推進方策検討会議」に要請した。

(10) 市町村への働きかけ

市町村が行っているアイヌ関連施策の充実、生活格差の是正等、引き続きアイヌ施策や推進体制が充実するよう働きかけた。

(11) 財政基盤の強化

アイヌ施策に必要な予算確保については努めてきたが、国・道の財政状況が厳しいことから、結果として現状維持にとどまった。

同時に協会の予算編成が立ちゆかない危機的財政状態となっているので、継続して効率的、緊縮的な運営を徹底した。

公益社団法人の認定を最大限活用しつつ、引き続きその活路を検討し、昨年度から賛助会員制度を開始させ、団体・企業等の支援を受け、自主財源の確保に努めた。

### 3 会務の運営

#### (1) 理事会などの審議の充実

総会で議決された事項及び会務の執行を適正かつ効果的に推進するため、理事会を年4回開催した。

回数	開催日	場所
第1回	平成26年4月25日(金)	札幌市
第2回	平成26年11月4日(火)	札幌市
第3回	平成27年1月26日(月)	札幌市
第4回	平成27年3月14日(土)	札幌市

#### (2) 監事の監査機能の充実など

公益法人移行後の平成26年度の執行部の業務や一般会計、特別会計の適正執行に努め、監事監査とともに公認会計士による監査を実施した。

- ・ 監事会計監査 : 平成26年12月26日、平成27年4月20日
- ・ 公認会計士監査 : 平成27年4月20日

## 2 事業の推進

### (1) 社会的地位の向上に関する啓発と施策の推進

先住民族アイヌに関する知識の普及と理解促進のため、一般市民及びアイヌ当事者に対し、国際人権規範や人種、民族等に係る情報収集や対面交流等、適切かつ効果的手法により各種広報・啓発を行った。

#### ① 広報紙「先駆者の集い」の発行

年3回（B5版p.8）各4,500部発行。協会団体会員及び本会員、賛助会員や行政機関、研究者等に無料配付した。

#### ② ホームページによる情報発信

当協会ホームページにおいて、先住民族アイヌの情報（組織概要、アイヌ史年表、国連活動、民芸品事業者、観光ガイド等）を発信した。

#### ③ 「2014年 国際先住民の日記念事業」の開催

日 時：平成26年8月9日（土）14:00～17:30

場 所：かでの2・7ビル4階 大会議室

テ ー マ：「アイヌ人骨の返還・慰霊のあり方／先住民族の人権 -責任と公益-」

1) 人類学講演1 国立科学博物館 人類研究部人類史研究グループ長 篠田謙一氏

2) 人類学報告1 東北大学医学部嘱託 元日本人類学会会長 百々幸雄氏

3) 考古学報告2 北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授 加藤博文氏

4) パネル発議他 伊達市噴火湾文化研究所所長 北海道考古学会会長 大島直行氏

(公社)北海道アイヌ協会副理事長 阿部一司

篠田、加藤（博）、大島、百々、各氏からのコメント

### (2) 各種貸付金の貸付

福祉（緊急使途支援）、環境整備（浴室、墓碑整備）、入学一時（大学、私立高校、専修学校）を、道内に居住するアイヌの生活向上や生活環境整備の支援のために、使途に応じて各種貸付を行った。

#### ① 福祉資金（緊急に生活資金が必要となった者への貸付／無利子・年度内償還）

・貸付限度額10万円以内 47件（4,700,000円）の活用があった。

#### ② 環境整備資金（浴室・墓碑整備に要する費用の貸付／無利子・据置き期間は貸付日の属する年度末迄。その期間経過後2年以内の償還）

##### ○浴室整備資金

・貸付限度額20万円以内 1件（200,000円）の貸付を行った。

##### ○墓碑整備資金

・貸付限度額30万円以内 0件

③入学一時資金（大学・私立高校・専修学校の入学時に要する費用の貸付／無利子・据置き期間は各資金種別の修業年限以内経過後3年以内）

○大学入学一時資金

・貸付限度額30万円以内 5件（1,396,000円）の貸付を行った。

○私立高校一時資金

・貸付限度額20万円以内 0件

○専修学校一時資金

・貸付限度額30万円以内 2件（545,000円）の貸付を行った。

（3）職業の確立及び教育の振興に関する施策の推進

道内居住アイヌの就労、就職に係る技能向上や各種免許取得等の所要経費の助成並びに就職相談や求人開拓等に携わるアイヌ雇用推進員設置による指導、アイヌ民工芸品生産者を対象に販路拡大や就業支援、技能向上などの各種支援策を推進した。

①就職奨励事業

○就労や就職に係る支度費用や就職条件のための「就職支度資金」、「自動車等免許取得資金」などの所要資金を助成した。

・就職支度資金23,100円

・技術習得資金50,000円以内21件（1,050,000円）の給付を行った。

②アイヌ雇用促進事業

○アイヌの雇用促進に対処するため雇用推進員を設置、就労・就職相談や求人開拓等によりアイヌの雇用と生活安定の促進を図った。

・全道13カ所のハローワークに雇用推進員を配置し、当該業務に従事した。

延べ491日間の活動で878件の相談を受理、132件の就職・求人に結びつけた。

平成26年度活動実績は次のとおり。

項 目		月 別												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. 活動日数		43	44	41	41	36	41	38	40	41	41	41	44	491
2. 相談 件数	1) 求職者相談件数	73	63	71	88	74	72	69	74	62	74	87	73	880
	有効求職者	62	53	61	57	51	56	51	56	50	57	58	60	672
	新規学卒者	3	3	1	1	1	1	0	2	1	2	2	2	19
	その他	8	7	9	30	22	15	18	16	11	15	27	11	189
	2) 事業所相談件数	1	1	1	0	1	0	1	3	1	1	1	4	15
	一般求人	1	1	1	0	1	0	1	2	1	0	0	0	8
	新規学卒者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	4	7
3. 安定所に取 次いだ件数	求職取次	14	13	12	12	14	15	12	12	11	13	14	14	156
	求人取次	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
4. 職場適応指導件数		2	4	3	3	5	2	3	1	1	2	1	4	31
5. 安定所に取り次いだ求人 情報のうち求人受理件数 (求人数)		4	3	3	3	4	5	0	1	0	0	1	2	26
		5	3	3	3	4	5	0	1	0	0	1	0	25
6. 就職に至った件数		16	12	11	9	8	9	11	5	10	16	6	19	132

③アイヌ中小企業振興対策事業

○アイヌ民芸品生産者の販路拡大や後継者育成、さらには新製品開発や需要喚起、民芸等の製作技術や文化の普及・理解促進のために行う作品展示、製作実演・体験などによる「民芸品展示会」を開催した。

開催地	場 所	期 間	体験講師／実演者
千歳市	新千歳空港 ターミナルビル 2階	平成26年 10月10日(金) ～ 13日(月)	体験ワークショップ ①長縄由加利(エルズ) ②貝澤竹子(アートサッポロ) 実演展示 ①藤原スエ子(カイザー) ②荒木 繁(あらき木彫製作所) ③石井美香(アートウケシコロ) 古式舞踊の公演 平取アイヌ文化保存会 白老民族芸能保存会
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	平成27年 2月12日(木) ～ 15日(日)	体験ワークショップ ①長縄由加利(エルズ) ②藤原スエ子(カイザー) 実演展示 3人 ①貝澤竹子 ②荒木 繁(あらき木彫製作所) ③吉田信男(吉田民芸) 古式舞踊の公演 様似アイヌ文化保存会 白老民族芸能保存会
東京都	ギャラリー八重 洲・東京	平成27年 2月18日(水) ～ 22日(日)	体験ワークショップ ①間宮喜代子 実演展示 2人 ①貝澤竹子 ②石井美香(アートウケシコロ)
香川県	高松空港ターミ ナルビル 2階	平成26年 10月31日(金) ～ 11月 4日(火)	体験講師 1人 ①石井美香(アートウケシコロ) 実演展示 2人 ①長縄由加利(エルズ) ②吉田信男(吉田民芸)

○博物館の民族資料の熟覧・講習受講等による知識・技能等の向上、先進地視察や国立民族学博物館の外来研究、技術指導受講などによる研鑽、調査研究及び経営研修などを進める「工芸者技術研修」を行った。

#### <道外研修>

国立民族学博物館に外来研究員としての受け入れを依頼し、アイヌ工芸者の技術向上とアイディアの開発、さらにはアイヌ工芸品の振興発展を目的に研修を行った。

また、天理大学附属天理参考館の収蔵資料の熟覧などを実施し、デザインの開発、製作技術について研修を深めた。

- ・研修期間：平成27年2月12日～2月25日（14日間）  
先進地視察 2月25日～27日（倉敷民藝館／宮島彫り）
- ・参加者：河岸麗子（白老）／堀 敏一（浦河）  
山下のぶ子（幕別）／村上 恵（幕別）
- ・報告会：研修終了後、研修報告会を実施した。

#### <道内研修>

アイヌ工芸者の技術向上と経営手法を習得するため、熟練工芸作家による技術指導と経営や販売促進に関する研修を実施した。

- ・研修期間：平成26年12月～平成27年3月
- ・講師：①技術指導 優秀工芸師 宮田初枝  
②経営セミナー 中小企業診断士 後藤直樹
- ・参加者：吉国幸子（白老）／河岸洋美（白老）
- ・報告会：研修終了後、研修報告会を実施した。

### （4）民族文化の保存・伝承及び発展に関する施策の推進

#### ①アイヌ伝統工芸展開催事業

期 間	平成27年2月5日（木）～9日（月）		
場 所	かでの2・7 1階展示ホール		
参加地区数	11地区協会（28名）		
出品数及び	伝統工芸品部門19点	一般工芸品部門48点	優秀工芸師部門23点
	計90点		
審査委員	北海道文学館学芸員	浅 川 泰	
	北海道立総合研究機構 工業試験場製品技術部	日 高 青 志	
（敬称略）	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授	山 崎 幸 治	
	北海道テキスタイル協会会長	戸 坂 恵 美 子	
	ヤイユーカーラの森 代表	計 良 智 子	
	北海道アイヌ協会優秀工芸師	西 田 香 代 子	
	北海道アイヌ協会優秀工芸師	貝 澤 徹	

受賞者一覧

	伝 統 工 芸 品 部 門			一 般 工 芸 品 部 門		
	作品名	地区名	氏 名	作品名	地区名	氏 名
最優秀賞 (※1)	アットウシ (樹皮衣)	平 取	川奈野元子	ショルダーパッ ク	阿 寒	小林慶子
優秀賞 (※2)				ケース付き手鏡	釧 路	伊藤夕美
優秀賞 (※3)	イタ (盆)	平 取	関根真紀			
優秀賞 (※4)	チカラカラペ (木綿衣)	札 幌	小山洋子	サラニブ (荷負袋)	札 幌	杉村 忍
奨励賞	チシポ (針入れ)	札 幌	門脇賢司	タペストリー	札 幌	長縄由加利
同	チヂリ (木綿衣)	幕 別	山下まり子	タペストリー	札 幌	早坂ユカ
同	イタ (盆)	帯 広	廣川昌嘉	トンコリ風 かんざし	阿 寒	森田 薫
同	イタ (盆)	平 取	藤谷 誠	マタンブシ (鉢巻き)	江 別	小笠原小糸
同	マエタレ (前掛け)	帯 広	廣川和子	テーブルセンタ ー	幕 別	山下まり子
				タペストリー	札 幌	荒木ハル子

※1 最優秀賞 (北海道知事)

※2 優秀賞 (北海道議会議長)

※3 優秀賞 (北海道教育委員会教育長)

※4 優秀賞 (かでの賞)

## ②アイヌ民俗文化財伝承・活用事業

○アイヌ民俗文化財理解のための用語や伝統技術の習得、民俗芸能の伝承等の講座を開設し一般市民及びアイヌ同胞への伝承普及等を図った。

- ・アイヌ民俗技術伝承講座 5会場(苫小牧／白老／むかわ／浦河／様似)
- ・アイヌ民俗芸能伝承講座 5会場(苫小牧／むかわ／浦河／様似／帯広)
- ・アイヌ民俗文化財総合伝承講座 1回(札幌)
- ・アイヌ民俗技術・芸能伝承講座発表・展示 1回(浦河)

## ③アイヌ民族文化祭事業

国際先住民の10年の周知・啓発と民族文化の伝承と発展を図るため、アイヌ民族文化祭2014を開催した。

- ◆開催日時：平成26年11月29日(土) 13:00～15:30
- ◆開催場所：新冠町 レ・コード館
- ◆入場者数：200人
- ◆内 容：アイヌ文化講演  
「アイヌの衣服文化の研究」－作り手の視点から－  
講師 津田命子(道立アイヌ総合センター学芸員／博士)  
アイヌ文化公演  
白糠アイヌ文化保存会  
新冠民族文化保存会  
特別公演  
オキ／レクポ

## (5) 諸民族との交流及び情報交換

### ①国内文化交流事業

○北海道大学及び札幌医科大学イチャルパ(供養祭)など、古式に則る先祖供養の実施により伝統文化の体験交流と技能習得による保存活動を実施し、併せて人類学等の研究者、大学関係者との遺骨返還方法等の協議や研究成果の社会還元、相互理解等を図った。

「北大イチャルパ文化交流の集い」－北海道大学アイヌ納骨堂におけるイチャルパー

- ・日 程：平成26年8月8日(金)
- ・場 所：北海道大学医学部敷地内「アイヌ納骨堂」
- ・参加者：130人

「札幌大イチャルパ文化体験交流の集い」－札幌医科大学におけるイチャルパー

- ・日 程：平成26年10月8日(水)
- ・場 所：札幌医科大学構内
- ・参加者：60人

○文化理解の促進と伝承活動の活性を図るため、アイヌ古式舞踊の保存団体を招聘した「芸能交流会」を開催し、各地に伝わる舞踊や歌、楽器演奏等を一般市民やアイヌ同胞に紹介した。

「芸能交流会」

- ・日 程：平成26年9月23日（火・祝）
- ・会 場：真歌公園広場（新ひだか町静内真歌）
- ・参加者：250人

○後継者の育成とアイヌ文化等の理解促進を図るため、「優秀工芸師」による「優秀工芸師秀作展示交流会」を開催し秀逸な作品の展示、技術指導を行った。

- ・日 程：平成27年2月5日（木）～8日（日）
- ・会 場：かでの2. 7 1階展示ホール
- ・実演者：優秀工芸師 9人

①国際文化交流事業（再掲）

第85会期人権差別撤廃に関する国際会議（CERD）への参加

- 日 程：平成26年8月17日～24日
- 場 所：ジュネーブ国連欧州本部
- 出席者：阿部一司他1名
- ※参加経費は、半額自己負担

(6) 道立アイヌ総合センターの管理

北海道条例に基づき指定管理者として道立アイヌ総合センターの指定管理業務を行った。

- ・ 保守管理業務→設備、備品、資料の保守管理
- ・ 施設利用に関する業務→利用受付、案内
- ・ 情報提供に関する業務→資料収集・保管、資料展示室の案内・開設、情報提供
- ・ 学習事業に関する業務→講習会等の開催、資料提供
- ・ 管理事業に関する業務→パンフレットの配布、アイヌ文化伝承保存のための普及啓発
- ・ 利用承認に関する業務→申込書の收受、承認書の交付
- ・ 災害、事故時対応 →利用者の安全確保、関係機関への連絡通報、応急処置等
- ・ 各種報告等 →事業報告等
- ・ その他 →関係団体との調整等

○一般市民に対しアイヌ民族への理解を深めるため、常設展示や関係図書、史・資料の利活用の促進を図った。施設空間の活用などによりアイヌ文化の体験学習や講習会を実施、伝承と保存活動を推進した。

平成26年度アイヌ総合センター学習事業実績

講習名	日程	講師名	延べ人数
アイヌ刺しゅう入門講習会Ⅰ	H26年 5月12日 14日 19日 21日	津田命子／宮田初枝	16 16 16 16
アイヌ刺しゅう入門講習会Ⅱ	H26年 6月30日 7月 2日 7日 11日	津田命子／宮田初枝	14 15 16 16
アイヌ刺しゅう中級講習会Ⅰ	H26年 7月28日 8月 1日 4日 8日	津田命子／宮田初枝	17 17 17 17
アイヌ刺しゅう中級講習会Ⅱ	H26年 9月 5日 12日 19日 26日 10月 3日 10日	津田命子／宮田初枝	19 19 19 19 19 19
アイヌ刺しゅう中級講習会Ⅲ (小さなカパラミプ)	H26年10月20日 24日 27日 31日 11月 7日 10日	津田命子／宮田初枝	19 19 19 19 19 19
合 計			421

○自主事業等の実施

(自主企画事業)

- ・アイヌ民工芸品（北海道アイヌ伝統工芸展受賞作品）をアイヌ総合センター内に展示し、優秀作品の鑑賞機会の提供と伝承技術の奨励を促進した。

(広報活動等)

- ・アイヌ協会ホームページ、講習会周知、かでの広報への施設案内・行事の周知を行った。

(7) 人種、民族に関する調査研究及び提言

先住民族アイヌに関する文化的伝統や慣習、歴史、言語、文化遺産、文化的表現を保持、管理、保護し、発展させるため、必要な情報収集につとめた。

①アイヌ民俗文化財調査事業 道教委委託事業

○故金成マツ筆録、ユカラ翻訳整理及び伝統的な生産業、民俗技術、口承文芸などの調査を行った。

- ・萱野茂二風谷アイヌ資料館保管の金成マツノート中、3話の翻訳整理と原稿化。  
表記法等：(筆録原文音素表記・アイヌ語カナ表記・邦逐語訳/対訳) 3編。
- ・民俗技術の調査

## 資料編

### アイヌ施策関連事業

平成26年度アイヌ施策関連事業

<修学奨励、教育事業関係>

1 高等学校等進学奨励事業【道（振興局）～対象者】

区 分	高校・大学別	人 数	上 限 額
入学支度金	高 校（給付）	102	23,760円
	大 学（貸付）	29	37,800円
修学資金	高 校 （給付）	国公立	3,339 月）23,000円
		私 立	768 月）43,000円
	大 学 （貸付）	国公立	192 月）51,000円
		私 立	1,158 月）82,000円

2 専修学校等進学奨励費補助事業【道（振興局）～対象者】

区 分	人 数	上 限 額
入学支度金	37	23,760円
修学資金	897	（月）23,000円

3 高等学校通学費補助事業【道（振興局）～対象者】

補助対象高等学校の通学に要する経費

65人に1,531,455円が助成された。

4 教育相談員の配置

北海道費で1名（望月典子）、札幌市単費で1名（光野智子）

帯広市単費で1名（荒田裕樹）が配置され教育相談業務が行なわれた。

<地方改善事業関係>

（1）施設整備事業の実績

（単位：円）

No.	市町村	地 区	種 別	規模等	事業費 A	補助金額 B	うち国庫 負担相当額 (B×2/3) C	うち道費 負担相当額 (B-C) D
1	浦河町	杵 臼	生活館	大規模修繕	14,580,000	10,935,000	7,290,000	3,645,000

## (2) 生活館運営費・生活館活動推進事業の実績

(生活館運営費補助金一覧) N o 1

(単位：円)

市町村	館数	区分	総事業費	補助金額	うち国庫負担相当額	うち道費負担相当額
			A	B	(B×2/3) C	(B-C) D
千歳市	1	運営費	3,872,630	2,703,000	1,802,000	901,000
		活動	136,874	102,000	66,000	36,000
		小計	4,009,504	2,805,000	1,868,000	937,000
八雲町	1	運営費	3,160,981	1,974,000	1,316,000	658,000
		小計	3,160,981	1,974,000	1,316,000	658,000
室蘭市	1	運営費	3,337,985	2,103,000	1,372,000	731,000
		小計	3,337,985	2,103,000	1,372,000	731,000
苫小牧市	1	運営費	7,648,857	2,703,000	1,802,000	901,000
		活動	364,915	121,000	80,000	41,000
		小計	8,013,772	2,824,000	1,882,000	942,000
伊達市	1	運営費	2,989,638	2,013,000	1,342,000	671,000
		活動	38,998	29,000	19,000	10,000
		小計	3,028,636	2,042,000	1,361,000	681,000
豊浦町	1	運営費	1,906,928	822,000	548,000	274,000
		小計	1,906,928	822,000	548,000	274,000
白老町	8	運営費	11,301,210	7,691,000	5,177,000	2,514,000
		小計	11,301,210	7,691,000	5,177,000	2,514,000
洞爺湖町	1	運営費	259,101	188,000	125,000	63,000
		小計	259,101	188,000	125,000	63,000
むかわ町	11	運営費	12,728,898	8,894,000	5,898,000	2,996,000
		活動	119,318	66,000	44,000	22,000
		小計	12,848,216	8,960,000	5,942,000	3,018,000
日高町	16	運営費	22,711,444	15,180,000	10,120,000	5,060,000
		小計	22,711,444	15,180,000	10,120,000	5,060,000
平取町	13	運営費	17,430,146	10,784,000	7,189,000	3,595,000
		活動	123,005	75,000	50,000	25,000
		小計	17,553,151	10,859,000	7,239,000	3,620,000
新冠町	9	運営費	7,537,540	4,596,000	3,064,000	1,532,000
		小計	7,537,540	4,596,000	3,064,000	1,532,000
浦河町	14	運営費	11,430,410	8,459,000	5,718,000	2,741,000
		活動	222,064	121,000	80,000	41,000
		小計	11,652,474	8,580,000	5,798,000	2,782,000
様似町	9	運営費	14,683,421	9,279,000	6,186,000	3,093,000
		活動	170,368	121,000	80,000	41,000
		小計	14,853,789	9,400,000	6,266,000	3,134,000

次頁に続く

## (生活館運営費補助金一覧) No.2

(単位:円)

市町村	館数	区分	総事業費	補助金額	うち国庫負担相当額	うち道費負担相当額
			A	B	(B×2/3) C	(B-C) D
えりも町	7	運営費	5,528,247	3,970,000	2,646,000	1,324,000
		小計	5,528,247	3,970,000	2,646,000	1,324,000
新ひだか町	31	運営費	19,049,151	11,079,000	7,386,000	3,693,000
		活動	255,000	121,000	80,000	41,000
		小計	19,304,151	11,200,000	7,466,000	3,734,000
帯広市	1	運営費	8,635,431	2,703,000	1,802,000	901,000
		小計	8,635,431	2,703,000	1,802,000	901,000
幕別町	1	運営費	2,976,593	822,000	548,000	274,000
		小計	2,976,593	822,000	548,000	274,000
本別町	2	運営費	1,696,930	1,243,000	827,000	416,000
		小計	1,696,930	1,243,000	827,000	416,000
浦幌町	1	運営費	1,557,991	822,000	548,000	274,000
		小計	1,557,991	822,000	548,000	274,000
釧路市	6	運営費	11,210,049	6,813,000	4,542,000	2,271,000
		小計	11,210,049	6,813,000	4,542,000	2,271,000
厚岸町	1	運営費	288,004	195,000	135,000	60,000
		小計	288,044	195,000	135,000	60,000
弟子屈町	1	運営費	468,330	345,000	230,000	115,000
		小計	468,330	345,000	230,000	115,000
白糠町	1	運営費	4,777,262	2,703,000	1,802,000	901,000
		小計	4,777,262	2,703,000	1,802,000	901,000
標津町	4	運営費	3,518,987	2,418,000	1,612,000	806,000
		活動	100,000	75,000	50,000	25,000
		小計	3,618,987	2,493,000	1,662,000	831,000
合計	143	運営費	180,706,164	110,502,000	73,737,000	36,765,000
		活動	1,530,542	831,000	549,000	282,000
		合計	182,236,706	111,333,000	74,286,000	37,047,000

※ 補助割合は、国2/4、都道府県1/4（間接分3/4）、市町村1/4です。

市町村	館数	区分	総事業費	補助基本額	国庫負担相当額	市費負担相当額
			A	B	(B×1/2) C	(A-C) D
札幌市	1	運営費	4,735,482	3,604,000	1,802,000	2,933,482
		活動	4,976,893	2,000,000	1,000,000	3,976,893
		小計	9,712,375	5,604,000	2,802,000	6,910,375
旭川市	2	運営費	14,654,108	4,700,000	2,350,000	12,304,108

※ 札幌市の数字は実績額、旭川市は実績(見込み)額

※ 札幌市(指定都市)及び旭川市(中核都市)の補助割合は、1/2です。

※ 注：運営費＝生活館運営費　：　活動＝生活館活動推進事業費

(3) 生活相談員

生活相談員が31名配置され、生活相談業務が行なわれた。

市町村名	氏名	市町村名	氏名
札幌市	門脇こずえ 佐々木洋子	浦河町	堀悦子 八重樫志仁
千歳市	上野和広	様似町	大野徹人 古館牧子
室蘭市	坂下敏子	えりも町	運上英昭 脇坂祐輔
苫小牧市	脇坂智春	旭川市	工藤 稠
登別市	芳賀美津枝	帯広市	白川ミチ子
伊達市	山崎よし子	芽室町	太田千代
白老町	小川康信 高野美和子	浦幌町	奥田珠美
むかわ町	佐々木義一 芦谷明美	釧路市	松本里美
平取町	増田貴司 阿部孝之 日川敏恵	白糠町	大谷 明
日高町	野島浩人	標津町	小林一志
新冠町	吉田明美	八雲町	多田光男
新ひだか町 静内庁舎	中鉢広記		

<農林漁業対策事業関係>

2 平成26年度アイヌ地区農林漁業対策事業実績

(単位：円)

市町村名	地区名	事業種目	事業主体	事業量	事業費
新ひだか町	東静内	(整備事業) 漁業経営近代化施設	ひだか漁業協同組合	共同作業施設 1棟 268.3㎡	40,932,000
八雲町	八雲	(整備事業) 漁業経営近代化施設	八雲地区資材保管庫利用組合	資材保管庫 1棟 734.4㎡ 格納庫 1棟 113.4㎡	159,764,400
		(推進事業) 漁業経営近代化施設		ホイルローダー 1台 フォークリフト 2台 運搬用トラック 2台	66,672,090
伊達市	有珠	(推進事業) 漁業経営近代化施設	いぶり噴火湾漁業協同組合	貝類殻表面洗浄機 10台	26,730,000
豊浦町	礼文華	(推進事業) 特認事業	いぶり噴火湾漁業協同組合	漁船上架施設一式 船台1台、ウィンチ1基 附帯レール一式	46,440,000
洞爺湖町	洞爺湖町	(推進事業) 特認事業	いぶり噴火湾漁業協同組合	漁船上架施設一式 船台1台、ウィンチ1基 附帯レール一式 ウィンチ小屋1棟	49,140,000
5市町 5地区					389,678,490

<中小企業対策関係>

1 経営改善普及指導員活動実績

中小企業者のニーズに応え、経営改善普及指導員及び地元商工会と連携を図り下記の事業を実施した。

(1) 集団指導

開催日	開催場所	内 容	講 師	人数
H27. 1. 26 (月)	釧路市阿寒湖 まりむ館	私たちを取り巻く時代の変化 と勝ち残る企業の条件	オフィス後藤経営 中小企業診断士 後藤直樹	8
	釧路市 春採生活館	私たちを取り巻く時代の変化 無くなるマーケットと生まれ るマーケット	オフィス後藤経営 中小企業診断士 後藤直樹	13

(2) 経営改善普及指導員による個別相談等

区 分	金 融	税 務	経 理	経 営	労 務	取 引	その他	合 計
巡 回	1	0	0	17	0	0	3	21
窓 口	7	2	0	45	0	0	3	57
合 計	8	2	0	62	0	0	6	78

(3) 経営相談日の開設

- ①アイヌ協会事務所で毎週、月・火・金曜日 (9:00~17:00) を相談日として開設。
- ②商工会連合会事務所で毎週、水・木曜日を相談日として開設。

総開設日223日 (うち、アイヌ協会事務所で開設日134日を含む)

<労働対策関係>

1 職業相談員活動実績

平成26年度15名が配置され、それぞれの地区において相談活動が行なわれた。

札幌職業安定所 阿部 一  
 札幌東職業安定所 川浪和美(9月迄)／月山佳代(10月以降)  
 札幌北職業安定所 川上容子  
 千歳職業安定所 好田敦子  
 函館職業安定所 相馬まり子(八雲出張所)  
 旭川職業安定所 青野和恵  
 室蘭職業安定所 上西静枝、小名幸子(伊達分室)  
 釧路職業安定所 伊賀秀子  
 帯広職業安定所 木村寿美子  
 苫小牧職業安定所 宮尾直子  
 浦河職業安定所 中田年枝、柴野仁子  
 上村一枝、工藤明美(静内分室)

2 就職資金貸付実績

北海道労働局主管で扱った常用労働者に対する就職資金の平成26年度の利用実績は次のとおり。

区分	単 身		扶養家族(有)		計	
	人数	金 額(円)	人数	金 額(円)	人数	金 額(円)
札幌	2	300,000	1	200,000	3	500,000
札幌東	1	150,000	0	0	1	150,000
札幌北	1	150,000	0	0	1	150,000
室蘭	5	750,000	0	0	5	750,000
浦河	7	1,050,000	1	150,000	8	1,200,000
苫小牧	5	750,000	0	0	5	750,000
計	21	3,150,000	2	350,000	23	3,500,000

### 3 公共職業訓練手当支給実績

次の関係高等技術専門学院等でアイヌ子弟に訓練手当が支給された。

#### <施設内>

学 院 名	人数	内 訳
札幌高等技術専門学校	1	電子印刷科2年生 1名
苫小牧高等技術専門学院	2	電気機器科1年生 2名
合 計	3	

#### <施設外>

学 院 名	人数	内 訳
室蘭高等技術専門学院	1	保育士養成科1年生 1名
釧路高等技術専門学院	1	介護福祉養成科2年生 1名
札幌高等技術専門学院	5	パソコン基礎科 5名
苫小牧高等技術専門学院	3	介護基礎科 3名
〃	2	ITビジネス科 2名
〃	2	OA基礎科 2名
〃	5	木工販売科 5名
釧路高等技術専門学院	1	IT基礎科 1名
ポロテクセンター北海道	1	型枠施工実践科 1名
合 計	21	

#### 4 機動職業訓練

4地区6件の機動職業訓練が行われた。

区分	学院名	訓練科目	実施地	職安	実施期間		訓練状況			備考
					期間	月	定員	入校	修了	
道立	札幌	パソコン基礎科	札幌	札幌	12/2~2/27	3	20	12	12	
	苫小牧	介護基礎科	苫小牧	苫小牧	1/5~3/19	2.5	30	13	12	
		ITビジネス科	浦河	浦河	1/8~3/23	2.5	10	8	7	
		OA基礎科	平取	苫小牧	1/8~3/23	2.5	10	9	9	
		木工販売科	平取	苫小牧	1/8~3/23	2.5	10	8	8	
	釧路	IT基礎科	釧路	釧路	1/8~3/23	2.5	15	13	11	
計						95	63	59		

#### <住宅対策関係>

##### 1 住宅改良資金貸付事業

平成26年度住宅改良資金貸付事業の実績

(単位：円)

市町村名	住宅新築資金		住宅改修資金		宅地取得資金		合計	
	件数	貸付額	件数	貸付額	件数	貸付額	件数	貸付額
網走市			1	4,300,000			1	4,300,000
豊浦町	1	4,500,000					1	4,500,000
むかわ町			1	4,800,000			1	4,800,000
合計	1	4,500,000	2	9,100,000	0	0	3	13,600,000

## 2 年度別建設実績

資金別 年 度	新 築 件	改 修 件	宅 地 取 得 件	合 計 件
昭和48年度	2	12	—	14
49	9	25	0	34
50	40	25	0	65
51	81	27	1	109
52	112	41	15	168
53	130	48	18	196
54	136	47	33	216
55	129	39	37	205
56	112	46	28	186
57	109	39	44	192
58	94	34	32	160
59	80	38	28	146
60	67	36	21	124
61	70	34	23	127
62	67	46	26	139
63	62	35	16	113
平成元年度	58	30	27	115
2	62	30	21	113
3	52	32	18	102
4	43	32	24	99
5	45	25	18	88
6	20	22	22	64
7	30	24	15	69
8	34	25	8	67
9	15	18	12	45
10	22	16	13	51
11	22	20	11	53
12	17	9	10	36
13	13	17	3	33
14	10	14	8	32
15	5	10	6	21
16	5	10	3	18
17	2	5	1	8
18	8	7	2	17
19	3	7	2	12
20	5	6	3	14
21	6	6	5	17
22	4	2	3	9
23	3	1	1	5
24	0	3	0	3
25	0	3	1	4
26	1	2	0	3
合 計	1,785	948	559	3,292